

# はだの 議会だより

第205号

平成24年(2012年)8月12日(日)  
発行:秦野市議会 編集:議会報編集委員会  
〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号 ☎0463-82-9652  
http://www.city.hadano.kanagawa.jp/shise/shigikai/

主な内容	
◆議案審議	1・5・6面
◆一般質問	2・3・4面
◆陳情・意見書	5面
◆議会のうごき	5面
◆9月定例会日程	6面
◆表紙写真募集	6面

6月定例会

## 市議会議員の定数を削減



秦野戸川公園の水無川上流で川遊びを楽しんでいます。(撮影者・栗原正行さん)

6月定例会は、6月7日から6月28日までの22日の会期で開催されました。この定例会では、条例の一部改正など市長提案議案5件を審議しました。また、議員提出議案3件、委員会提出議案1件を審議しました。(議決結果は、5面に掲載)

### 議会改革と機能強化に向けて

#### 2人削減し、24人へ

議提議案第1号 秦野市議会議員の定数を定める条例の一部を改正することについて

#### ▼要旨

議会の活性化と機能の強化を図るとともに、適正な議員定数について検討するため、平成23年9月に議会活性化特別委員会を設置した。委員会では議員定数の在り方を最優先課題とし、全国的に見る議会の現状や議会機能などから、協議・検討してきた。その結果を受け、社会情勢の変化や本市の財政状況を踏まえ、市政に対する監視機能としての機能をより一層強化しつつ、議会改革に取り組みことを目的として議員定数の削減を行うため、改正するもの。

なお、この条例の施行日は、次の一般選挙(任期満了に伴う選挙など)からとするもの。

#### ▼主な質疑

**問** 提案理由に「本市の財政状況を踏まえ」とあるが、定数を2人削減することで生まれる財源はどのくらいか。

**答** 議員1人当たりの報酬は期末手当を含め年間約700万円で、そのほかに政務調査費や所管事務調査費がある。

**問** 定数削減により、監視機能は低下すると考えるが、どのように強化するのか。

**答** 定数削減で必ずしも監視機能が低下するとは考えておらず、議員一人一人が議会基本条例の理念の通り、より一層の議会活性化

化と機能の強化を図りつつ市民の負託に応えられるよう努めることが肝要であると考えます。

**問** 議員定数を2人削減する根拠はどのようなか。

**答** 大方の議員が合意できる数値とした。妥当性については専門家の意見もさまざまで、論理的根拠や合理的基準で示すことは不可能であり、断定する根拠はないと考えている。なお、一般的には現在の定数を基準にして削減の可否や削減数を議論し、決定しているのが実情であると理解している。

#### ▼反対討論

景気の悪化が暮らしや雇用に影響を及ぼし、市民から多様な要望が増えている。市民の暮らしや福祉などを守る役割を担う議員の定数を削減することは、そのパイプを細くするものであり、民意を切ることにもつながるため反対する。



さらなる議会の活性化へ

#### ▼賛成討論

議員削減論は、議会が本来の機能を果たしているのか、または不信論からきていることを重視し、市民のための議会改革を進めるために議員自身の資質の向上と住民の代表として、質の高い議会に転換する好機である。

議員自らが身を削り、議会改革への不転換の決意と覚悟を示すことは市民の理解と共感を得られるものと考えている。また、定数削減のみにとどまることなく、議会と議員の役割など、議会基本条例が市民に理解され、本市の発展に反映されるよう取り組んでいくことを決意し、賛成する。

▼議決結果  
本会議 原案可決(賛成多数)

### 永年勤続議員表彰

5月23日に全国市議会議長会定期総会が開催され、込山弘行議員が勤続20年、木村真澄議員が勤続10年の表彰を受けました。(掲載は勤続年数順)

#### ○込山弘行議員

昭和33年生まれ。当選6回。無所属。秦野市議会議長、監査委員、秦野市伊勢原市環境衛生組合議会議長等を歴任。市内寿町在住

#### ○木村真澄議員

昭和25年生まれ。当選4回。無所属。文教福祉常任委員会委員長、決算特別委員会委員長等を歴任。市内下大槻在住



込山弘行議員



木村真澄議員